ともに都市木造の可能性を追求する

NPO法人化記念セミナー

ティンバライズ

NPO法人チーム　ティンバライズ（腰原幹雄理事長）は7月29日、東京・新木場タワーで東日本大震災チャリティーイベントと法人化を記念して「ともに都市木造の可能性を追求する」をテーマにセミナーを開催、250人を超える参加者が集まった。

ティンバライズは、2001年に高層木造研究会として木造建築や農学系の研究者などが集まり、木造多層階建築物の実現に向けた研究を行い、09年に正式な団体として再スタートした。

メンバーが勢ぞろいして、それぞれの想いを語った

各地で都市木造をテーマにした展示会などを行い、都市木造の可能性や木造耐火建築が可能であることを広く発信してきた。4月1日付でNPO法人として登記され、多くの人が参加できるようにした経緯を報告した。

腰原理事長は、都市木造を推進する意義をCO²固定などの観点から説明した。大規模木造の場合は大断面集成材を主に使い、特注対応によりコスト高になる傾向があるが、住宅用の規格部材を使うとコスト削減できるため、用途に応じたプロトタイプ提案を行っていくことなどを説明した。

ティンバライズがかかわった下馬プロジェクト（5階建て共同住宅）は、03年から施主の依頼で設計に入り、部材開発からスタートしたもので、06年に確認申請も取った。しかし、融資関係で時間を取られている間に耐震偽装問題が発覚、建築基準法の確認申請の厳格化が行われた。これにより確認申請を出し直し、木のまち整備事業の補助を受けて、今年度中には着工する見通しになっていることが報告された。

また、木質ハイブリッド構造のプロトタイプとして、日集協の鋼材内蔵型の集成材を使った店舗併用住宅や、学校などのプロトタイプが紹介された。

吉野材デザインコンペ発表会

「割り鉛筆」が最優秀賞

奈良県

奈良県はさきごろ、東京・虎ノ門で、吉野材の良さを再発信することを目的とした、「吉野材」を使った「暮らしの道具」デザインコンペの最終審査を行った。審査側は、吉野材の特徴を生かし、オリジナリティーを持ち、現代生活に適合し、奈良の文化や精神性を備え、ユーザビリティ・環境貢献度の高いものという5つの評価項目を設定し、評価した。

審査委員長である日経BP社・日経デザインとして踏み込んで反映させているかが優劣を分けた。さらに商品化の場合には、より広く多くの人に使ってもらえる可能性を秘めたものであるかが問われた」と講評を述べた。

受賞した割り鉛筆とは、吉野を発祥とする割り箸として、端材を有効活用する目的（環

築する必要がある。コンペでは、家具ではなく、生活に身近な小道具で吉野材の良さを引き出したイメージ作品を募集した。昨年10月から作品を募集し、全

決算

震災で15億6200万円の特損を計上

山大

山大（宮城県石巻市、高橋貞夫社長）の11年3月期決算が7月29日、発表された。減収増益見込みだったが、東日本大震災で15億6200万円の特別損失を計上し、当期純損失は14億4600万円となった。

当期は、製材工場ウッド・ミルで生産した人工乾燥材「宮城の伊達な杉」を、自社のプレカットで加工する営業戦略で、大型木造物件や金物工法物件に積極的な営業を展開。ホーム事業でも同じ材料を使用した「いきな家」等の拡販に努めた。また、経営基盤の強化、業務の合理化、販売・一般管理費の削減等による収益改善と工場損益の改善に努めた。

単位：100万円、（　）は前期比%、▲は損失

	11年3月期	来期予想
売上高	4,159（97.0）	4,170（100.2）
経常利益	96（107.7）	67（71.3）
当期純利益	▲1,446（　—）	260（　—）

その結果、売上高は41億5900万円で前期比3・0%減、営業利益6500万円で同2・5%増、経常利益9600万円で同7・1億400万円（同84・9%増）。ホーム事業は大型木造物件の減少で売上高5億2900万円（同32・4%減）、営業利益6300万円（同38・6%減）となった。賃貸事業は売上高5300万円（同18・6%減）、営業利益3300万円（同27・0%減）だった。

東日本大震災以後は、事業を通じて地域社会の復旧・復興に貢献できるよう被災工場の早期操業に全力を挙げて取り組んでおり、一部で操業を再開している。

26日に3大森林認証制度セミナー開催

ガス機器検査協会

一般財団法人日本ガス機器検査協会（JIA）環境ソリューションセンターは26日、東京都立産業貿易センター（港区）でSGEC、PEFC、FSCの3大森林認証制度に関する「森林認証セミナー」を開催する。

講演内容は次のとおり。▽ハウスメーカーのグリーン調達（大手住宅会社）▽政府グリーン調達（環境省）▽SGEC森林認証制度（SGEC緑の循環認証会議）▽PEFC森林認証制度（PEFCアジアプロモーションズ）▽FSC森林認証制度（FSCジャパン）▽パネルディスカッション（講演者全員参加を予定）。

会場は東京都立産業貿易センター浜松町館第1、2会議室（東京都港区海岸1―7―8）。日時は26日午後1～5時（受付開始は午後零時40分から）。参加費は、5000円（JIA登録事業者に限り無料）。

問い合わせは、JIA環境ソリューションセンターEPAグループ（電話03・3586・1686）担当の早坂氏まで。

ューズ募集

ッチフレーズを
紙上ならびに協会

告効果を表すもの
子メールお1人1
調、必ず「専門紙」
ること。語句がない

業、電話、本新聞紙
版権は当協会の所
フェスティバルに

には、当社より記
のは有効）
業ビル）
当社
外に利用いたしません。
すのでご了承下さい。
もご参照下さい。

木を愛し信用を商う店

吉野材　各種集成材
米ひば　スプルース

株式会社　森芳商店
東京都江東区新木場3-9-6
TEL 03（3521）2822㈹
FAX 03（3521）2875
本社夜間休日用（3642）2837